

### (3) 地域活性化に資する施設整備計画

#### 1) 地域活性化に向けた目標と方向性について

##### ( ) はじめに

健康の森では、「貴重な谷戸環境や緑地空間の保全」および、「自然環境を活かした地域活性化」の両立が求められている。ここでは、「自然環境を活かした地域活性化」の目標および課題と方向性について整理する。

##### ( ) 地域活性化に向けた目標

健康の森を含む周辺地域において地域活性化を図るためには、健康の森の自然環境を活かして、他地域との差別化を図った魅力のある地域づくりが必要となる。

また、健康の森だけではなく、周辺地域における経済的波及効果、地域イメージの向上が継続的かつ相乗的に発揮されることが期待される。そこで、健康の森の地域活性化に向けた目標を次のとおり設定し、これらを実現するための課題と方向性の案を以降に示す。

##### < 地域活性化に向けた目標 >

自然環境を保全・活用した地域ブランドイメージの向上を目指します。

健康の森の周辺を含めた地域の魅力を高め、活性化を図ります。

市内外から多くのリピーターが来訪できる地域づくりを推進します。

##### ( ) 地域活性化の課題と方向性

上記の地域活性化に向けた目標を実現化するためには、4つの課題がある。

1つ目の課題は、現在の自然環境等を活かして、地域ブランドイメージを高めるためのブランド戦略検討である。遠藤の竹炭というような地域ブランドはあるものの、より多くの来訪者を呼び込むためには更なるブランドを発掘していく必要がある。

課題を受けた今後の方向性として、現在の健康の森および周辺地域における資源の把握・発掘・評価や、現在の利用者ニーズの把握、ブランド化の検討が考えられる。

2つ目の課題は、地域ブランドイメージを向上し、市内外から多くのリピーターが来訪することができるように、自然環境の保全や施設整備等による魅力の向上を図ることである。健康の森は認知度が低く、森を訪れる人もいるが、繰り返し訪問する人は少ないことから、地域の魅力の向上を図り、リピーターを増やしていく必要がある。

課題を受けた今後の方向性として、環境の整備、散策路(フットパス)の整備、イベント等活動・体験・交流の場の提供が考えられる。

3つ目の課題は、地域の魅力を伝え、市内外から多くのリピーターが来訪することができるような、効果的な宣伝・PRである。貴重な谷戸景観や緑地空間を保全しているものの、その情報を市内外の人達が共有されていないことから、PRする体制を図っていく必要がある。

課題を受けた今後の方向性として、新たな魅力あるネーミングづくりや、現地におけるPR体

制の構築、対外的なPRの実施が考えられる。

4つ目の課題は、上記のブランドの戦略検討、魅力の向上、宣伝PRを推進していくための協働・連携による事業推進である。上記の3つの課題は密接に関連しており、これらを推進するためには、様々な組織との連携を進めるとともに、リーダーなどの人材の確保・育成を図っていく必要がある。

課題を受けた今後の方向性として、地域連携、市民参加・人材確保・人材育成（リーダー、スタッフなど）が考えられる。

次項に詳細の課題を示した「地域活性化の課題と方向性」および「地域活性化に向けた展開図」、今後地域住民などが主体となり展開が期待される「手軽に歩けるフットパス(半日コース)（想定される動線および整備水準）」を示す。

# 地域活性化の課題と方向性

## <地域活性化に向けた目標>

- 自然環境を保全・活用した地域ブランドイメージの向上を目指します。
- 健康の森の周辺を含めた地域の魅力を高め、活性化を図ります。
- 市内外から多くのリピーターが来訪できる地域づくりを推進します。



## 課題④

### 協働・連携による事業推進

- ①地域連携
  - 遠藤地域経営会議、NPO法人、ボランティア団体、大学、JA、農家、サークル活動者、小中学校、(社)藤沢市観光協会、市等の事業連携
  - 例)・大学のオープンカレッジ・環境情報技術の活用
    - ・生産苗圃を植物園として開放((社)日本植木協会の日本列島植木植物園※との連携)
    - ※各社の圃場を活用した公開型の植木植物園(全国で100ヶ所以上)
    - ・美しい農村のまちなみを形成する生垣の案内板の設置(生垣の機能、種類等)
    - ・ボランティアによる地元小学校等を対象とした継続的な自然観察会
    - ・学校教育の一環として、「落ち葉かき」、「どんぐり→植樹」などのカリキュラム導入
    - ・駐車場等の施設利用の協力(イベント時等)
    - ・江の島・藤沢ガイドクラブによる歴史散歩のコースの追加
  - コーディネーターの活用(各種専門家)
- ②市民参加・人材確保・人材育成(リーダー、スタッフなど)
  - 人材の募集PR、参加の動機付け(1日体験、谷戸大学の開講等)
  - 活動の継続性の確保(開かれた組織、活動の意味の共有、楽しみ、継続教育等)
  - 資金の確保(企業協賛、売上げの向上、各種助成金の活用)
  - 活動の場の整備(管理施設等)



## 課題①

### ブランド戦略検討

#### <方向性>

##### ①資源の把握・発掘・評価

- 生物(オオタカ、魚、昆虫、野鳥、草花)
- 食(里山の恵み(タケノコ、竹炭、シイタケ、米(無農薬、特別な品種)))
- ひと(炭焼き活動、保全・再生活動、教育活動)
- 景観(広がりのある谷戸景観、農地と樹林の連続性、富士山への眺望等)
- ※地元、ボランティア等による検討

##### ②現代の利用者ニーズの把握

- 想定される方向性
- 健康志向(散策、森林浴、園芸療法、農作業等)
- 環境配慮志向(自然体験、環境学習、保全活動等)
- 文化的志向(野外アート、絵画、写真等)

##### ③ブランド化

- ネーミング(オオタカ等)を付け、付加価値を付ける。
- 農産物のブランド化(特別な品種、無農薬農作物等)
- 歴史を活かしたブランド検討

## 課題②

### 魅力の向上

#### <方向性>

##### ①環境の整備

- 魅力ある谷戸の林・水辺環境づくり(間伐、水辺の多自然化等)
- 里山活動を支える施設整備(管理施設、サイクルド等)
- 地域の都市インフラ整備(相鉄いずみ野線延伸、道路、排水整備等)

##### ②散策路(フットパス)の整備

- |                            |                                     |
|----------------------------|-------------------------------------|
| <計画地内>                     | <計画地周辺>                             |
| ○散策路整備<br>(歩道、木道の草刈り、間伐管理) | ○案内施設整備                             |
| ○案内施設整備                    | ○農産物直売所の設置                          |
| ○休憩施設整備                    | ○広域レベルのフットパスの整備<br>(小出川、茅ヶ崎里山公園等含む) |
| ○竹林の里の活用                   | ○土地活用の検討                            |

##### ③イベント等活動・体験・交流の場の提供

- 体験する(竹の子掘り、田植え、稲刈り、落ち葉かき、植樹、竹炭祭り、炭焼き活動、環境保全活動、農作業、地域生活文化等)
- ※一般の者が気軽に主体的にあるいは受動的に参加できる場を設け、常時または定期的イベント等を開催する
- ※フットパスのコースとイベントを組み合わせる
- 食べる(収穫祭、里山祭り等)
- 遊ぶ(水遊び、工作、どんぐり拾い、木登り、落ち葉遊び、昔遊び、案山子づくり、虫取り等)
- 見る・学ぶ(地域ガイド、観察会、花菖蒲、環境学習(学校教育等の実施)、地域の歴史、農業の生産現場や生産者の顔の見える化等)
- 交流する(来訪者と地元住民とのふれあいの場づくり、民家の宿泊)

## 課題③

### 宣伝・PR

#### <方向性>

##### ①新たな魅力あるネーミングづくり

- 公募により、豊かな自然、健康を想起できるネーミング(オオタカ等)を募集

##### ②現地におけるPR体制の構築

- 現地の案内板、掲示板による資源(自然、活動)のPR
- イベント等への参加を通じたPR(農業体験を通じて農作物をPR)
- 現地の観察ガイド、ボランティアによる魅力の発信

##### ③対外的なPRの実施

- パンフレットづくりによるPR
  - ※フットパスの掲載(広域レベルのフットパスと手軽に歩けるフットパス)
  - ※イラストを多く入れ、農業生産者のイラストやコメントを入れて魅力を高める
  - ※自然観察会の日程、見どころや食、体験施設の情報を掲載
  - ※販売(HPにも掲載)することも含めて検討
- 関連団体への加入によるPR
  - ※日本フットパス協会(自治体会員、団体会員有り)、日本エコツーリズム協会(法人会員有り)の会員等
- 広報やミニコミ誌、フリーペーパー(フジマニ、湘南よみうり等)によるイベント等のPR
- HP、ツイッターやフェイスブックなどのITツールによるPR(ツイッターやフェイスブックでHPに誘導)
- 企業連携による相鉄など車内広告を用いたPR



特別緑地保全地区（素案）

少年の森

樹林エリア

- 課題：ブランド戦略検討
- <方向性>
- 資源の把握・発掘・評価
  - ・食（里山の恵み（タケノコ、シイタケ））
- 課題：魅力の向上
- <方向性>
- 環境の整備
  - ・魅力ある谷戸の林づくり（間伐）
- 散策路（フットパス）の整備
  - ・散策路整備（草刈等）
- イベント等活動・体験・交流の場の提供
  - ・環境保全活動
  - ・観察会
  - ・環境学習
  - ・ドングリ拾い、木登り、落ち葉遊び、虫取り
  - ・竹の子掘り
- 課題：協働・連携による事業推進
- <方向性>
- 市民参加・人材確保・人材教育
  - ・人材の募集PR
  - ・活動の継続性の確保

横断道周辺エリア

- 課題：魅力の向上
- <方向性>
- 環境の整備
  - ・魅力ある谷戸の水辺環境づくり（多自然化）
- 散策路（フットパス）の整備
  - ・散策路整備（草刈等）
- イベント等活動・体験・交流の場の提供
  - ・環境保全活動
  - ・観察会
  - ・環境学習
  - ・虫取り
- 課題：協働・連携による事業推進
- <方向性>
- 市民参加・人材確保・人材教育
  - ・人材の募集PR
  - ・活動の継続性の確保

水辺エリア

- 課題：魅力の向上
- <方向性>
- 環境の整備
  - ・魅力ある谷戸の水辺づくり（多自然化）
- イベント等活動・体験・交流の場の提供
  - ・水遊び
  - ・虫取り
  - ・観察会（水生生物等）
  - ・環境学習

田んぼエリア

- 課題：ブランド戦略検討
- <方向性>
- ブランド化
  - ・農産物のブランド化
- 課題：魅力の向上
- <方向性>
- イベント等活動・体験・交流の場の提供
  - ・農作業
  - ・収穫祭、里山祭り
  - ・環境学習
  - ・虫取り
  - ・交流の場
- 課題：協働・連携による事業推進
- <方向性>
- 市民参加・人材確保・人材教育
  - ・人材の募集PR
  - ・活動の継続性の確保

外周部エリア

- 課題：魅力の向上
- <方向性>
- 散策路（フットパス）の整備
  - ・歩きやすい歩行空間の創出
  - ・案内板の設置
  - ・生垣の解説板の設置
  - ・直売所の設置
- 課題：協働・連携による事業推進
- <方向性>
- 地域連携
  - ・生産苗圃を植物園として開放

四阿（休憩所）エリア

- 課題：魅力の向上
- <方向性>
- 散策路（フットパス）の整備
  - ・休憩施設の整備

炭焼き小屋エリア

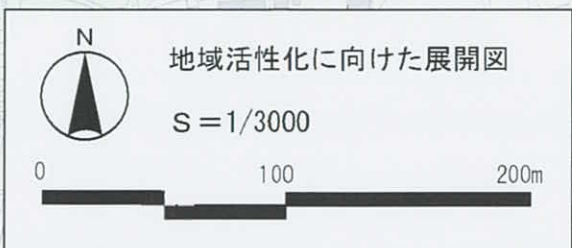
- 課題：ブランド戦略検討
- <方向性>
- 資源の把握・発掘・評価
  - ・食（里山の恵み（タケノコ、竹炭））
- 課題：魅力の向上
- <方向性>
- 散策路（フットパス）の整備
  - ・竹林の里の活用
- イベント等活動・体験・交流の場の提供
  - ・竹炭祭
  - ・炭焼き活動、竹の子掘り
- 課題：協働・連携による事業推進
- <方向性>
- 市民参加・人材確保・人材教育
  - ・人材の募集PR
  - ・活動の継続性の確保
  - ・資金の確保

しょうぶ園エリア

- 課題：魅力の向上
- <方向性>
- イベント等活動・体験・交流の場の提供
  - ・見どころの整備
  - ・観察会、花菖蒲
  - ・来訪者と地元住民とのふれあいの場
- 課題：協働・連携による事業推進
- <方向性>
- 市民参加・人材確保・人材教育
  - ・人材の募集PR
  - ・活動の継続性の確保

管理施設・広場エリア

- 課題：魅力の向上
- <方向性>
- 環境の整備
  - ・里山活動を支える施設整備（管理施設・リサイクルヤード等）
- イベント等活動・体験・交流の場の提供
  - ・環境保全活動
  - ・農作業
  - ・地域生活文化体験
  - ・収穫祭、里山祭り
  - ・工作、昔遊び
  - ・観察会
  - ・環境学習
  - ・交流の場
- 課題：協働・連携による事業推進
- <方向性>
- 市民参加・人材確保・人材教育
  - ・活動の継続性の確保
  - ・活動の場の整備（管理施設等）



※樹林エリアの詳細範囲及び内容は管理計画にて検討します。



### 【フットパス動線設定の視点】

- ・半日で、健康の森の中の自然および周辺の自然や歴史、農業を楽しめる設定としている。
- ・起終点は、付近に公衆トイレやコンビニエンスストアのある「慶応大学」バス停としている。

### ■フットパスの考え方

フットパスは、健康の森と周辺の地域資源を一体的に利用することで、地域振興に寄与することを目的に設定したものです。

フットパスの設定にあたっては、多様な来訪者に地域の魅力を広く深く伝え、利用を促進するために、御所見地区や茅ヶ崎市などを含んだ広域レベルのフットパスと健康の森周辺を手軽に歩いて、半日程度で楽しめるフットパスの二通りの考えを設定します。

### ■広域レベルのフットパスについて

広域レベルのフットパスは、健康の森基本構想の中で方針が位置づけられています。ルートについては、茅ヶ崎山公園や慶應義塾大学キャンパス内などを検討している。今後は、具体的なルート設置や将来的な案内板の設置などの必要性も含めて、遠藤地域経営会議、御所見まちづくり推進協議会などの地元組織が中心となって検討を進めることが期待されています。

### ■サインの整備方針

#### ①サインの種類について

- ・地域の見所やフットパスルートを案内する総合案内サインを設置します。
- ・フットパスルートの分岐点などを中心に、フットパスルートを案内する方向指示サインを設置します。
- ・竹炭や水辺、美しい生垣など特徴的な場所で来訪者に魅力を案内する竹炭焼サインや水辺の生態案内サイン、生垣案内サインを設置します。

#### ②サインの整備水準について

- ・多様な来訪者にフットパスのルートや地域の魅力を伝えるため、サインの盤面は言語（日本語と英語の併記）、色彩（カラーバリエーション）等に配慮します。
- ・サイン本体に使用する素材は、地域の魅力と調和する木材などの自然素材を使用します。
- ・方向指示サインなど簡易なサインは、イベントなどを通して来訪者とともに制作します。

手軽に歩ける  
フットパス(半日コース)  
(想定される動線および整備水準)  
S=1/5000

### ■フットパスの方針

- ・フットパスコースは想定されるコースを示しており、具体的なルート設定、サイン整備やサインのデザインについては、地域を主体とした遠藤地域経営会議などの地元組織と連携して検討を進める。
- ・計画地内において散策路を整備・維持する。  
※土留による散策路の崩れ対策、草本類繁茂の対処、支障木の整理など
- ・散策路の整備は、来訪者の散策路以外への立ち入りを抑制するなど希少種の保全に配慮したものとす。  
※必要に応じて、柵、ロープ、木道などを整備・維持する。
- ・駐車場の確保を検討する。  
(健康の森整備区域周辺を含む)
- ・農産物直売所の継続的な運営について検討する。
- ・多様な来訪者に対する地域の魅力案内とフットパスのルート案内を行う。



立ち入りを抑制する施設のイメージ

- 凡例
- 想定されるフットパスルート
    - 農村風景と谷戸の自然を楽しむルート  
2.5時間コース(3.1km)
    - 谷戸の自然と歴史、農産物に触れ合うルート  
3.5時間コース(5.2km)
  - ※コースタイムは参考です

- 基礎情報
- トイレ
  - バス停
  - コンビニエンスストア
  - 樹林
  - 田畑
  - 美しい生垣
  - 健康の森整備区域
- フットパスの見所
- 歴史
  - 農・食
  - イベント
  - 眺望
- 整備対象
- 方向指示サイン
  - 総合案内サイン
  - 生垣案内サイン
  - 水辺の生態案内サイン
  - 竹炭焼サイン
  - 散策路に関する整備・維持



総合案内サインのイメージ



方向指示サインのイメージ



水辺の生態案内サインのイメージ



2) 地域活性化に資する施設整備

以下に地域活性化に資する活動等と必要となる施設のリストを示す。

活動等と必要な施設のリスト

活動・利用のメニュー		必要な施設・場所	備考
健康の森内			
自然環境の保全	間伐・伐採材の活用	伐採材の加工場、搬出・搬入路	管理用通路W3000
		湿地保全(ヨシ刈り)	湿地 横断道周辺
	オオタカ等の保護	立入り防止柵	
		制札板	
	ミーティング・連絡	ミーティングルーム(管理施設)	
		トイレ(屋外、管理施設)	
		四阿(屋外、休憩所)	
		掲示板	
	その他作業一般	足洗い場	
		作業用具収納戸(管理施設)	
農体験	農作業	水田	
		作業用具収納戸(管理施設)	
		トイレ(屋外、管理施設)	
		散水栓	
環境教育	レクチャー	レクチャールーム(管理施設)	
	解説	解説板(動植物情報、里山の案内)	
	散策	木道(水辺)	
		安全な散歩道	間伐材の活用
管理者の事務作業	事務作業	事務室(管理施設)	
		トイレ(管理施設)	
		洗い場・水場(管理施設)	
		駐車場	
	植物管理	作業ヤード(刈り草の堆肥化)	
散策	散策(ルートの確認)	案内板	
	散策(入口の確認)	門(名称表示)	
周辺地域			
散策	散策(ルートの確認)	案内板	
	地域の魅力発信	生垣の解説板	
		日本列島植木植物園参加・看板設置	